

REC'D 17 MAR 2005

WIPO

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT 36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 04P519W0-KRE	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/005599	国際出願日 (日.月.年) 20.04.2004	優先日 (日.月.年) 23.04.2003
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. G09G3/20		
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

1. この報告書は、PCT 35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第57条（PCT 36条）の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。
- a ☒ 附属書類は全部で 3 ページである。
- ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
- ☐ 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
- b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 12.11.2004	国際予備審査報告を作成した日 03.03.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 鈴野 幹夫	2F 8621
電話番号 03-3581-1101 内線 6297		

## 第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)という国際調査  
☐ PCT規則12.4という国際公開  
☐ PCT規則55.2又は55.3という国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 \_\_\_\_\_ 1-24 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 2-8、10-18 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 \_\_\_\_\_ 1、9 \_\_\_\_\_ 項\*、12.11.2004 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 \_\_\_\_\_ 1-12 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

## 第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲		有 無
	請求の範囲	1-18	
進歩性 (IS)	請求の範囲		有 無
	請求の範囲	1-18	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-18	有 無
	請求の範囲		

## 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 2002-91382 A (日亜化学工業株式会社)  
2002.03.27 (ファミリー無し)

文献2: JP 11-352919 A (三菱電機株式会社)  
1999.12.24 (ファミリー無し)

文献3: WO 02/3365 A (日亜化学工業株式会社)  
2002.01.10 & CA 2383635 A & AU 678890  
1 A & US 2002/163513 A1 & CN 1383538  
T & EP 1298632 A1

文献4: WO 02/11116 A (日亜化学工業株式会社)  
2002.02.07 & CA 2384623 A & AU 776940  
1 A & US 2002/180719 A1 & CN 1386259  
T & EP 1306827 A1

文献5: JP 2003-76335 A (日亜化学工業株式会社)  
2003.03.14 (ファミリー無し)

請求項1-18の発明は文献1-5に記載されているから、新規性、進歩性を有しない。文献1においては特に段落番号43、文献3においては特に第16頁第4行-第17頁第23行、文献4においては特に第44頁第21行-第45頁第8行参照。上記文献に記載されたものは複数のユニット等で1枚の表示パネルを形成している。RF信号による無線通信、識別情報を用いた無線通信、異なる搬送波による無線通信、無線信号からエネルギーを得る電源等は当業者に周知な技術事項である。

## 請 求 の 範 囲

1. (補正後) 画像情報を表示するための複数の画素を有する 1 枚の  
5 表示パネルと、外部から入力される前記画像情報を示す画像信号に応じ  
て、前記複数の画素を駆動する複数の駆動回路とを備える表示装置にお  
いて、

前記画像信号は無線信号であり、

前記無線信号から前記画像信号の一部を得る複数の無線入力部を備  
10 え、

前記複数の駆動回路が、前記無線入力部により得た前記画像信号の一  
部に応じて、前記複数の画素の一部を駆動するように構成されているこ  
とを特徴とする表示装置。

15 2. 前記複数の駆動回路のそれぞれが、前記無線入力部を有してお  
り、当該無線入力部により得た前記画像信号の一部に応じて、前記複数  
の画素の一部を駆動するように構成されている、請求の範囲第 1 項に記  
載の表示装置。

20 3. 前記無線信号は R F 信号であり、

前記無線入力部は、前記 R F 信号を復調するように構成されている、  
請求の範囲第 1 項に記載の表示装置。

4. 前記複数の駆動回路が有する無線入力部のそれぞれは、受信周  
25 波数が互いに異なるように構成されている、請求の範囲第 3 項に記載の  
表示装置。

5. 前記駆動回路は、

前記画像信号の一部を記憶する記憶部と、

当該記憶部に記憶された前記画像信号の一部を変調して送信信号を生成する信号送信部と、

5 当該信号送信部にて生成された送信信号を無線により出力する無線出力部と

を更に備える、請求の範囲第1項に記載の表示装置。

6. 前記駆動回路のそれぞれには識別情報が割り当てられており、

10 前記無線入力部は、前記識別情報に基づいて、前記無線信号から前記画像信号の一部を得るように構成されている、請求の範囲第2項に記載の表示装置。

7. 前記駆動回路は、大規模集積回路である、請求の範囲第1項に

15 記載の表示装置。

8. 前記駆動回路は、薄膜トランジスタを含む薄膜デバイス回路からなる、請求の範囲第1項に記載の表示装置。

20 9. (補正後) 画像情報を表示するための複数の画素を有する1枚の表示パネルと、外部から入力される前記画像情報を示す画像信号に応じて、前記複数の画素を駆動する複数の駆動回路とを備える表示装置と、  
前記画像信号を無線信号で送信する画像情報処理装置と  
を備える情報処理システムにおいて、

25 前記表示装置は、前記無線信号から前記画像信号の一部を得る複数の無線入力部を備え、

前記複数の駆動回路が、前記無線入力部により得た前記画像信号の一

部に応じて、前記複数の画素の一部を駆動するように構成されていることを特徴とする情報処理システム。

10 10. 前記複数の駆動回路のそれぞれが、前記無線入力部を有しており、当該無線入力部により得た前記画像信号の一部に応じて、前記複数の画素の一部を駆動するように構成されている、請求の範囲第9項に記載の情報処理システム。

10 11. 前記画像情報処理装置は、前記無線信号を複数の無線信号に分割して異なる搬送周波数で送信するように構成されており、

前記複数の駆動回路が有する無線入力部のそれぞれは、受信周波数が互いに異なるように構成されている、請求の範囲第10項に記載の情報処理システム。

15 12. 前記画像情報処理装置は、前記駆動回路を識別するための識別情報を含む無線信号を送信するように構成されており、

前記無線入力部は、前記識別情報に基づいて、前記無線信号から前記画像信号の一部を得るように構成されている、請求の範囲第10項に記載情報処理システム。

20

13. 外部から入力される前記画像情報を示す画像信号に応じて、画像情報を表示するための画素を駆動する表示装置用の駆動回路において、

前記画像信号は無線信号であり、

25 前記無線信号から前記画像信号の一部を得る無線入力部を備え、

当該無線入力部により得た前記画像信号の一部に応じて、前記画素を駆動するように構成されていることを特徴とする駆動回路。